

議 事 (4) 宮城県美術館リニューアルの概要について

目指す姿:「記憶に残る」「また訪れたい」「常に新しい発見のある」美術館

I 機能と改修内容

(1) 子どもたちの豊かな体験を創出する美術館

★キッズ・プロジェクト:次代を担う子どもたちに、美術とふれあう機会と場を提供する全館的取組

キッズ・スタジオ(仮称)	【新設】 子どもが創作活動や団体活動等に利用できるスペース。中庭からの自然光を取り入れた明るい部屋とします。
アトリエ・エリア	子どもが創作できるオープンスペース、自由な活動のほか、プログラムも行います。
オリエンテーションエリア	館内外を回るプログラムのための集合場所、学校等の団体に向けた事前レクチャーや昼食をとることのできるスペースとして活用します。
造形遊戯エリア	従前の造形遊戯室の機能を移設し、小さな子ども連れでも安心して来館できる環境を整備します。また、絵本を配架し、木製玩具等を設置します。

様々なプログラム	鑑賞、素材体験、造形などの活動や遊びにおける各要素を総合的に組み合わせたプログラムを実施します。平日キッズプログラム・週末プログラム等を行います。
展示での取り組み	子どもから大人まで幅広い年齢層の方々の意識し、魅力的でわかりやすい展示、解説を計画します。見える収蔵庫で、子どもから大人まで幅広い年齢層の方々を対象としたプログラムを実施します。主に絵本原画を展示する常設収蔵展示室(仮称)に、自ら引出して鑑賞できる展示ケースを設置し、子どもも能動的に鑑賞できる展示を行います。
マップ&ガイド等	分かりやすいマップやガイド等の印刷物、ウェブページなどを作成して、子どもやご家族連れにも利用しやすい美術館の魅力体験できる環境づくりを目指します。

(2) 人々が憩い、くつろぎ、集い、つながる美術館

情報・交流ラウンジ(仮称)	旧図書室を改修、機能の一部を移設し、デジタル機器等も配置して様々な美術情報に触れることができる、くつろげる空間とします。団体対応や記念館アート・ホールで開催される講演会のサテライト上映のためのスペースとしても活用します。
レストラン・ミュージアムショップ	スペースを拡張します。
バリアフリー・ユニバーサルデザイン化	【新設】授乳室 コインロッカーを分かりやすい位置に拡大移設します。 オストメイト対応バリアフリートイレを増設します。 乗用エレベーターの向きの変更・拡張によりアクセスを改善します。 全館のサインを誰もが認識しやすい調和のとれたデザインのものに更新します。多言語対応の充実を図ります。

全所蔵品データの公開	情報・交流ラウンジ(仮称)に、新たに情報端末を設置し、所蔵品データや解説、高画像データ等を閲覧できるようにします。
バリアフリー・ユニバーサルデザインの取り組み	障害の有無に関わらず美術を楽しめるよう、それぞれに応じた鑑賞プログラムの提供や関係各所との連携をこれまで以上に行い、周知にも努めることで美術館の活用を促します。 一層の合理的配慮に努めます。 院内学級や特別支援学校と連携して子どもたちが美術に親しむ機会を更に広がります。

※ 主にハード分野の取組 主にソフト分野の取組

(3) 国内外の人々が魅了される美術館

既存展示室	照明、ガラス、クロス、カーペット、天井仕様等を更新します。
新展示室	【新設】 最新のガラスケースや照明を備えます。 弾力的な運用により、コレクション展示のほか大規模な特別展の場合にも使用可能とします。 新展示室と既存展示室や記念館との一体的な動線を創出します。
常設収蔵展示室(仮称)	【新設】 絵本原画等を展示するスペースとし、自ら引き出して鑑賞できる新たな展示ケースを設置します。
見える収蔵庫	【新設】 普段は公開されない収蔵庫の様子を知り、体感できる施設とします。 文化財の保存や収集活動といった美術館の役割を学ぶことも出来る場とします。 収蔵庫に保管されているのと同じ状態で、多数の作品が大型の絵画ラックにけられている様子を見ることが出来ます。
新収蔵庫	【新設】 所蔵品の特性に応じた保存環境を整備します。 防犯性とリスク管理に優れたセキュリティ機能とします。
既存収蔵庫	セキュリティを強化します。
Wi-Fi	拡充 通信環境を向上、館内事業で活用します。

解説アプリの活用	スマートフォンの既製アプリを活用し、展示中の作品の詳細データや作品解説を閲覧できる環境を整えます。子どもから大人まで幅広い年齢層の方々の意識し、魅力的でわかりやすい展示、解説に努めます。
様々なプログラム	見える収蔵庫の中に入って行うプログラムも検討します。
建築の紹介	前川國男氏の設計による建築について紹介します。

(4) ともに築きあう美術館

新県民ギャラリー	来館者がアクセスしやすい位置に、主に個人やグループを対象とした展示に対応する空間と設備を設けます。照明や展示設備を、使い勝手がよく鑑賞性の高い設備に更新します。県民の創作活動の発表、交流、鑑賞の場を提供します。
環境に配慮した設備	これまで蛍光灯が残っていた展示室や収蔵庫も含め、館内の照明すべてをLED化し、省エネルギー化をはかります。 新諸室の空調等、新設・更新する設備は、エネルギー効率のよい方法や機器を採用します。 新設のトイレには自動消火機能を設ける等、環境に配慮した機能を設けます。

ボランティア活動	ワークショップや講演会等の補助などの従来活動に加え、キッズ・スタジオでの運営補助や彫刻清掃などの、新規のボランティア活動の導入を順次進めていきます。
美術館協会との共働	応援いただいている会員(個人・団体)の皆様と共に活動していきます。

II 老朽化・旧態化箇所の更新

建物	屋外	建物本体等の洗浄による美観の向上 屋上防水、雨水配管などの改修による美術品の安全性の向上
	屋内	地階へ降りる階段を開放的で明るい螺旋階段とすることによる魅力の向上 本館展示室内部の壁面、床カーペットの更新。エレベーター2基を更新
設備	電気設備	館内照明のLED化による明るさと省エネ性能の向上の両立 受変電設備や電灯設備等の必要な更新・改修。Wi-fi環境の整備
	空調設備	熱源設備及び空調機の一部を更新省エネ性の高い設備の導入による性能向上及びランニングコストの削減の両立
	衛生設備	バリアフリートイレの導入、既設トイレの更新による衛生環境の向上
外構	床タイル	劣化が進んでいる前庭と中庭のタイルを、滑りにくいタイルに更新
	北庭	北庭の池の水が循環するように送水ポンプを更新
	照明	照明機器の更新と照明計画の再検討により、安全性の向上と魅力喚起